

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-267874

(43)Date of publication of application : 28.11.1991

(51)Int.Cl.

H04N 1/32

(21)Application number : 02-066201

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 16.03.1990

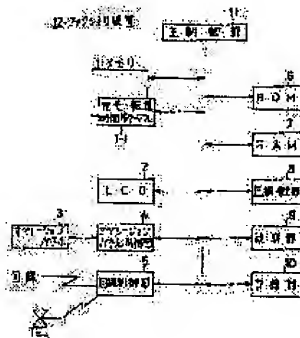
(72)Inventor : INOUE YASUHIRO
NAKATO TOSHIHIKO
SHIBATA KAZU HARU

(54) TRANSFER CONTROL SYSTEM FOR FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily transfer an original while the transfer time is limited within a designated transfer time by adopting the constitution such that a transfer time zone is registered in advance corresponding to a destination and an original is transferred within the transfer time zone only corresponding to a transmission request.

CONSTITUTION: A facsimile equipment 12 is provided with a destination transfer time zone table 1-1 registering a destination and a transfer time zone corresponding to each other. The destination transfer time zone table 1-1 is referenced upon a transfer request to transfer an original within the transfer time zone registered in advance, and the transfer request is stored at the outside of the transfer time zone and the original is transferred when the transfer time zone is reached. Thus, the original is transferred within the designated transfer time zone.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公

⑫ 公開特許公報(A) 平3-2678

⑬ Int. Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)

H 04 N 1/32

Z

2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (

⑮ 発明の名称 ファクシミリ装置の転送制御方式

⑯ 特 願 平2-66201

⑰ 出 願 平2(1990)3月16日

⑱ 発 明 者 井 上 康 弘 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通
内

⑲ 発 明 者 中 塔 利 彦 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通
内

⑳ 発 明 者 柴 田 一 治 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通
内

㉑ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉒ 代 理 人 弁護士 岡田 守弘

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置の転送制御方式

2. 特許請求の範囲

ファクシミリ装置によって原稿を指定した転送
時間帯に転送する転送制御方式において、

宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録する
宛先・転送時間帯テーブル(1・1)を設け、

転送要求に対応してこの宛先・転送時間帯テー
ブル(1・1)を参照して予め登録されている転送時

ファクシミリ装置によって原稿を指定した転
送時間帯に転送する転送制御方式に關し、

宛先と転送時間帯とを対応づけて登録してお
転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送
を行い、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送
することを目的とし、

宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録す
宛先・転送時間帯テーブルを設け、転送要求に
対応してこの宛先・転送時間帯テーブルを参照し
予め登録されている転送時間帯のときに原稿を
送り、一方、転送時間帯でないときに当該転送
要求を記憶しておき転送時間帯が到来したときに

従来、ファクシミリ装置による原稿の転送は、手動で転送指示あるいは図線を介して転送要求として一時的に受け付け、そのまま転送するようにしていた。このため、ある時間帯に限定して転送し得ないという問題があった。

本発明は、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておく、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行い、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送することを目的としている。

〔課題を解決する手段〕

第1図を参照して課題を解決する手段を説明する。

第1図において、ファクシミリ装置12は、原稿を送受信するものである。

宛先・転送時間帯テーブル1-1は、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録するテーブルである。

〔作用〕

転送要求などの情報登録するメモリである。

宛先・転送時間帯テーブル1-1は、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録するテーブルであって、例えば第2図に示すようなテーブルである。

LCD2は、液晶パネルであって、時間（例えば通話時間、通信時間など）、送信中の宛先、電話番号などを表示するものである。

オペレーションパネル3は、オペレータが各種操作を行うためのパネルである。

オペレーションパネル制御部4は、オペレーションパネル3からの入力を取り込むなどの制御を

本発明は、第1図に示すように、転送要求に応じてこの宛先・転送時間帯テーブル1-1を照して予め登録されている転送時間帯のときに原稿を転送し、一方、転送時間帯でないときに転送要求を記憶しておき転送時間帯が到来したときに原稿を転送するようにしている。

従って、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておく、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行うことにより、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送することが可能となる。

〔実施例〕

次に、第1図から第4図を用いて本発明の1実施例の構成および動作を順次詳細に説明する。

第1図において、ファクシミリ装置12は、転送要求に対応して宛先・転送時間帯テーブル1-1に予め登録されている転送時間帯内に原稿を宛先に送信したり、送られてきた原稿を受信したりするものである。

メモリ2は、宛先・転送時間帯テーブル1-

する読み書き可能なメモリである。

圧縮・復元部8は、原稿から読み取った画像データを圧縮したり、受信した圧縮された画像データを元の画像に復元したりするものである。

読取部9は、原稿を読み取り、画像データに変換するものである。

記録部10は、受信して復元した画像データに印字などして記録するものである。

制御部11は、CPU（中央処理装置）になっていて、各種制御を行うものである。

ファクシミリ装置12は、1ないし11から成られ、原稿を送受信するものである。

間帯テーブル1-1を参照して8:00~10:00の転送時間帯のときのみ原稿を転送し、それ以外のときに当該転送時間帯が到来するまで待つて転送する。同様に、宛先のFAX(B)に対しては、13:00~15:00の転送時間帯のときのみ原稿を転送する。

次に、第4図フローチャートを用いて第1図、第2図構成における動作を詳細に説明する。

第4図において、①は、着呼する。これは、第1図で回線を介してファクシミリ装置12に着呼することを示す。

②は、DTMF信号が受信されたか否かを判別する。これは、DTMF信号(プッシュホン式電話の番号などを押下したときに発生するビーポーパという信号)が受信されたか否かを回線制御部5で判別する。YESの場合には、③を行う。NOの場合には、④で待機する。

⑤は、転送要求コマンドか否かを判別する。これは、DTMF信号を用いて転送要求コマンドが受信されたか否かを回線制御部5で判別する。Y

ESの場合には、⑥を行う。NOの場合には、⑦を行う。

⑧は、転送時間帯か否かをROM5内のプログラムをもとに主制御部1が判別する。これは、YES、YESで転送要求コマンドが受信されたので、現時点が第2図宛先・転送時間帯テーブル1-1を参照して当該転送要求コマンドで指定された宛先の転送時間帯に含まれるか否かを、ROM5内のプログラムをもとに主制御部1が判別する。YESの場合には、転送時間帯内であるので、メモリ1あるいはRAM7に蓄積などされている原稿の画像データを指定された宛先に転送する。一方、NOの場合には、転送時間帯内ではないので、⑨、⑩、⑪を行う。

⑫は、メモリ1に記憶する。これは、⑩NOの現時点が転送時間帯内でないことが判明したので、⑪の旨および宛先をメモリ1に記憶する。

⑬は、転送時間帯か否かを判別する。これは、現時点が、⑫でメモリ1に記憶した宛先の転送時間帯内になったか否かをROM5内のプログラ

をもとに主制御部1が判別する。YESの場合には、⑭で蓄積されている原稿の画像データを指定された宛先に転送する。NOの場合には、⑮を繰り返して行い、待機する。

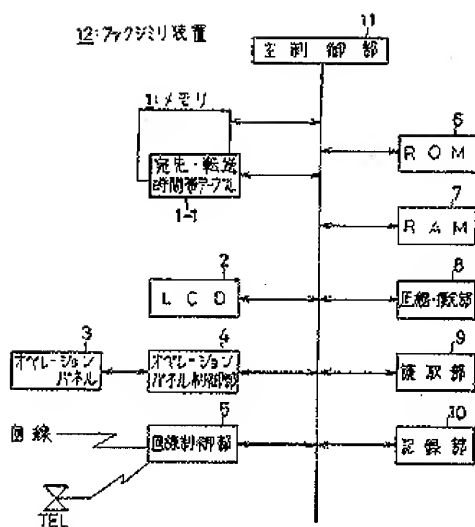
また、⑯は、オペレータがオペレーションパネル3から転送要求を行う。この転送要求に対応して、⑰以降を行う。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、宛先に対応づけて転送時間帯を予め登録しておき、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行う

図中、1-1は宛先・転送時間帯テーブル、2はオペレーションパネル、5は回線制御部、8は圧縮・復元部、11は主制御部、12はファクシミリ装置を表す。

特許出願人 富士通株式会社
代理人 弁理士 岡田 守弘



本発明の1実施例構成図

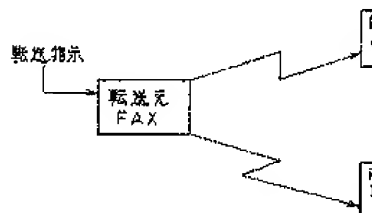
第 1 図

13

NO.	転送時間帯	宛
1.	8:00-10:00	000-xxx-△△
2.	13:00-15:00	000-△△△-xy
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

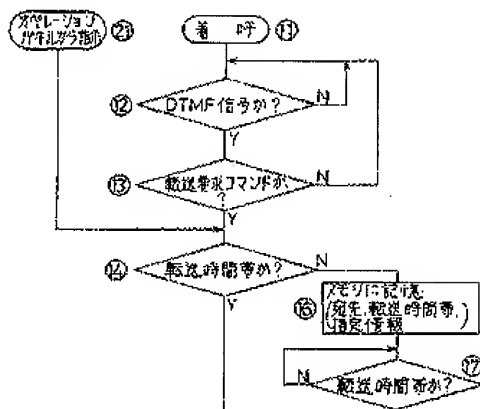
本発明に係る宛先・転送時間

第 2 図



本発明の転送説明図

第 3 図



2. 特許請求の範囲

図像符と顔面情報とを転送してある宛先を記憶する第1の記憶手段と、送受信端間と転送時間とを対応づけて予め記憶した第2の記憶手段と、前記第1の記憶手段の宛先が前記第2の記憶手段内の転送宛先と一致する場合、現在時刻が前記転送宛先に対応する転送時刻に到達したことを検出して前記第1の記憶手段より送信情報を取り出して宛先する宛先へ転送する転送制御手段とを具備するファクシミリ装置。